

遺跡見学・発掘体験

本センターへ、発掘体験や遺跡見学及び遺跡を活用した研修の申込みが多数あり、1,110名の方々に調査中の遺跡を公開しました。

発掘体験や土器・石器に直接触れるなどして感激され、古代のロマンに夢を馳せていらっしゃいました。



遺跡名	月日	名称	人数
天神段遺跡	5月21日(火)	大崎町野方小学校(2・6年生)	33名
天神段遺跡	7月17日(金)	野方いきいき講座(大崎町)	18名
永吉天神段遺跡	7月23日(火)	「AIRA」ふるさとチャレンジ(給食市教委)	40名
荒園遺跡	8月2日(金)	おおさきっ子発掘体験(大崎町教委)	15名
永吉天神段遺跡	8月6日(火)	霧島市文化財少年団(霧島市教委)	34名
田原迫ノ上遺跡	8月6日(火)	鹿屋市教育委員会 文化財ウォッチング発掘体験	20名
永吉天神段遺跡	8月8日(木)	熊本大学社会教育主事講習現地研修	15名
天神段遺跡	8月19日(月)	小能いきいきサロン(大崎町)	20名
田原迫ノ上遺跡	8月28日(水)	宮田親子会(南大隅町)	20名
永吉天神段遺跡	10月1日(木)	湧水町遺跡見学会	24名
永吉天神段遺跡	10月4日(金)	志布志市有明地区高齢者学級見学	24名
町田堀遺跡	10月12日(土)	※現地説明会	450名
永吉天神段遺跡	10月29日(火)	埋蔵文化財発掘調査現地研修(大隅教育事務所)	17名
永吉天神段遺跡	11月9日(土)	※現地説明会	310名
町田堀遺跡	11月19日(火)	鹿屋市公民館講座	16名
永吉天神段遺跡	11月27日(水)	曾於地区文化協会遺跡見学	14名
永吉天神段遺跡	1月17日(金)	埋蔵文化財専門職員養成講座	40名
計	5遺跡	1,110名(小・中・高生142名、大人968名)	

※埋蔵文化財調査センター主催

下半期の業務進捗状況

1.記録保存調査(本年度予定の記録保存調査は、全て3月には終了予定である【1月30日現在】)

東九州自動車道建設に伴う記録保存調査

遺跡名	計画延べ面積	終了延べ面積	進捗率
天神段遺跡	8,000㎡	8,000㎡	100,0%
京の塚遺跡	7,000㎡	3,750㎡	53,5%
田原迫ノ上遺跡(支援業務委託)	17,846㎡	17,846㎡	100,0%
牧山遺跡(支援業務委託)	23,000㎡	23,000㎡	100,0%
町田堀遺跡(支援業務委託)	20,850㎡	20,850㎡	100,0%
永吉天神段遺跡(支援業務委託)	25,400㎡	25,400㎡	100,0%
荒園遺跡(支援業務委託)	8,955㎡	8,955㎡	100,0%

東九州西回り自動車道 出水阿久根道路建設に伴う記録保存調査

遺跡名	計画延べ面積	終了延べ面積	進捗率	
中尾遺跡ほか	中尾遺跡	2,600㎡	2,600㎡	100,0%
	前原遺跡	1,650㎡	1,650㎡	100,0%

国道226号 岩本交差点改良工事に伴う記録保存調査

遺跡名	計画延べ面積	終了延べ面積	進捗率
岩本麓遺跡	230㎡	230㎡	100,0%

2.整理・報告書作成(1月30日現在)

東九州自動車道関係

遺跡名	調査年度	作業の種類	作業内容	進捗率
天神段遺跡	平成19年度～	整理	1 弥生～近世 遺構図トレース・遺物実測・原稿執筆 2 縄文時代 晩期土器の接合・遺構配置図作成	72,0%
立小野堀遺跡	平成22年度～	整理	遺構デジタルトレース・遺構土器・土器接合・復元・石器実測 遺構図遺物チェック・鉄器実測	70,0%
田原迫ノ上遺跡	平成22年度～	整理	土器注記・分類・接合・遺構トレース	75,0%

南九州西回り自動車道関係

遺跡名	調査年度	作業の種類	作業内容	進捗率
中郡遺跡群	平成21年度 平成24年度	整理 報告書	校正・遺物収納	97,0%
堀之内遺跡 (支援業務委託)	平成21年度～ 平成24年度	整理 報告書	レイアウト・遺物トレース・原稿執筆・観察表作成 分布図作成	97,0%
中尾遺跡ほか	平成25年度	整理	原稿執筆・遺物実測・トレース・拓本・データ入力	70,0%

(公財)埋蔵文化財調査センターのホームページは、

検索キーワード

上野原縄文の森(<http://www.jomon-no-mori.jp>)または、

上野原縄文の森

検索

クリック

鹿児島県文化振興財団(<http://www.houzanhall.com/zaidan/>)の上野原縄文の森からお入りください。

県立埋文センターの見学は、土日・祝日・年末年始を除き、毎日午前9時～午後5時まで、入館料は無料です。

かごしまの遺跡 3号

発行日 平成26年2月28日
編集・発行 (公財)埋蔵文化財調査センター
〒899-4318 鹿児島県霧島市
国分上野原縄文の森2番1号
TEL 0995-70-0574・FAX 70-0575
URL:<http://www.jomon-no-mori.jp>
E-mail:maibunchosa@tuc.bbiq.jp

公益財団法人 鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター

～かごしまの遺跡～

第3号

平成26年2月28日発行



本年度の調査成果

本年度は、東九州自動車道建設に係る7遺跡、西回り自動車道建設に係る2遺跡及び国道226号改良工事に係る1遺跡、合わせて10遺跡の記録保存調査を行いました。

調査も、ほぼ終了しましたので、主な調査成果を紹介いたします。

町田堀遺跡 所在地/鹿屋市細山田

調査期間:平成25年6月～平成26年1月

「87基の古墳時代の墓を発見!!」



町田堀遺跡では古墳時代の南九州独特のお墓である地下式横穴墓を87基を検出し、11体の人骨が出土しました。また、鉄器などの副葬品も多数発見されました。

その中でも、25号墓、28号墓、34号墓の3基は、直径5～8mの円形周溝を伴っています。古墳時代の円形周溝墓は、指宿市の南摺ヶ浜遺跡で発見されていますが、円形周溝を伴う地下式横穴墓の発見は初めてです。その他の円形周溝4つには、中央部に埋葬施設が見られません。これも疑問となるところです。

また、これだけの規模の地下式横穴墓群は、同じ細山田にある立小野堀遺跡に次ぐものになります。東九州道建設に伴って、今後も続々と発見され、更なる研究成果が期待できると思われま。

荒園遺跡

所在地：曾於郡大崎町狩宿

調査期間：平成25年6月～平成26年1月

「縄文時代と弥生時代の2つの文化」

荒園遺跡では、縄文時代早期(約8,000年前)と弥生時代中期(約2,000年前)の調査を進めています。縄文時代早期の調査では、塞ノ神式土器が1個体分まとまって見つかりました。この土器を使っていた人が何らかの理由で土器を放置して別の場所に移動したのか、それとも祭祀のためにここに据え付けられたのか、大変興味深い事例です。

弥生時代中期の調査では、ベッド状遺構を持つ竪穴住居跡が1基検出され、計3基の竪穴住居跡が発見されています。



▲ 塞ノ神式土器が見つかった様子



▲ 弥生時代の竪穴住居跡の様子

中尾遺跡・前原遺跡

所在地：出水市福ノ江町・下知識町

調査期間：平成25年6月～9月

「土器を大量に含む古墳時代の土坑発見!!」

前原遺跡では、古墳時代初頭の土坑を3基検出しました。埋土中には遺物が含まれており、1号土坑では甕形土器が6個体分、3号土坑では甕形土器が2個体分、壺形土器が1個体分含まれていました。

また、隣接する中尾遺跡でも、縄文時代晩期の深鉢や浅鉢等の破片を含む土坑を検出しました。両遺跡について共通することは、時代は異なるが、土坑の中に遺物が含まれていたことです。



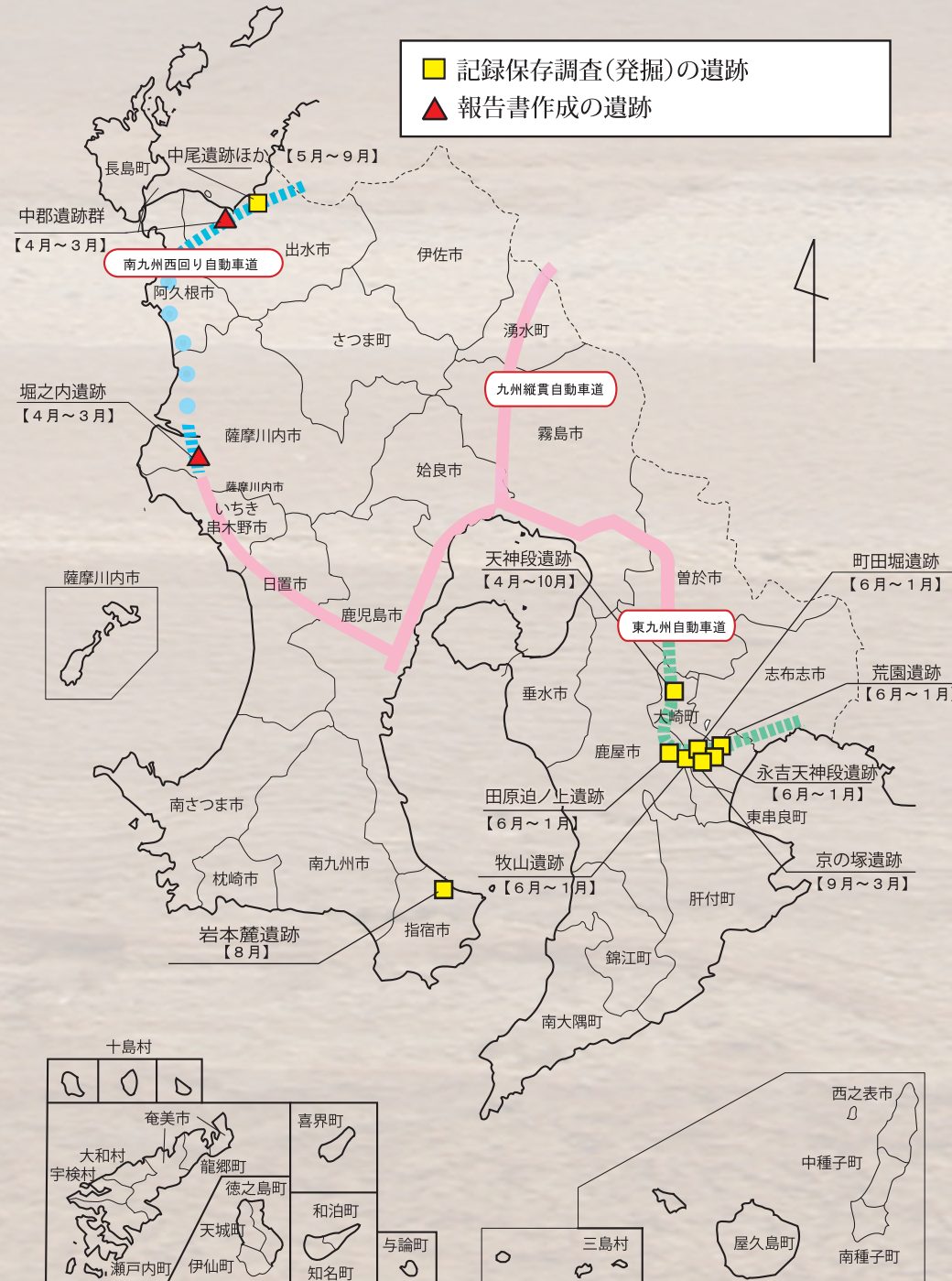
▲ 中尾遺跡の土坑



▲ 前原遺跡の土坑



平成25年度 発掘調査の遺跡



京の塚遺跡

所在地：曾於郡大崎町持留

調査期間：平成25年9月～平成26年3月

「縄文時代の遺物, 大量出土!!」

縄文時代前期末～中期(約5,000年～4,000年前)の遺物が大量に出土しました。そのなかには、1個体の土器がつぶれた状態で出土したり、石器製作跡が何ヶ所も見つかりました。また、この時期の土坑が数多く検出されました。当時はこの地が豊かで暮らしやすい土地であったと考えられます。この時期の遺物が遺構を伴って大量に発見される事例は珍しく、今後の調査成果が期待されます。



▲ 出土した多数の遺物



▲ ひとまとまりで出土した土器

牧山遺跡

所在地：鹿屋市串良町細山田

調査期間：平成25年6月～平成26年1月

「逆さに埋められた謎の縄文土器」

縄文時代前期(約6,000年前)の埋納された土器を発見しました。出土した状況から、当時の人々が地面に穴を掘り、その中に土器を逆さに埋めたことがわかります。土器の大きさは、高さ約35cm、口縁部の直径約30cmです。何かの儀式なのか、おまじないなのか、土器の中に何か入れて埋めたのでしょうか？

周辺からは、他の遺構や遺物は全く発見されておらず、この埋納土器だけが検出されています。そのことから特別な意味があったのではないかと考えられます。



▲ 埋納土器の検出状況



▲ 土器部分の拡大写真